

キックボクシングの魅力

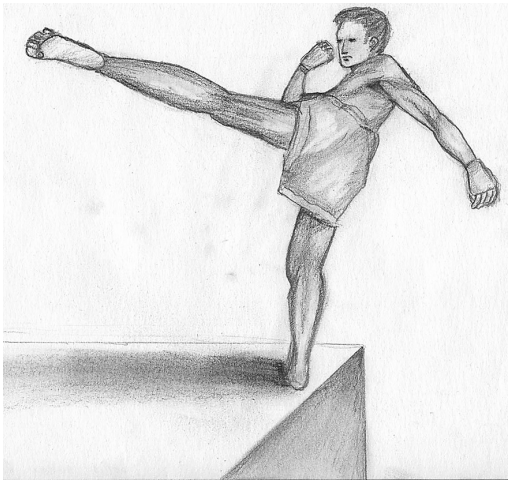
佐伯 光彦(東大阪市)



リレーエッセイ 263

歴史上、最古の競技と言われるボクシング。古代オリンピックが始まってから、紀元前688年に正式種目になった。これ以上肥満になりたくな

いとしの紹介で、クリスクロスキックボクシングジムに入った。ジムの会長や、元日本チャンピオン等、その道を極めた方々の人間性にも魅せられキックの素晴らしさを伝えたいと思う。一瞬の判断や反応で勝負が決まる。どんなに練習を繰り返しても負けるのは...という不安や恐怖に悩まされる。そんな負の要素があるからこそ、退屈でキツイ練習を黙々とこなせるのである。しかし



絵 藤田 進 (河内長野市)

する場合はほとんどかたがた。タイの国技とも言われるムエタイ、それを基に

日本で発祥したキックボクシング。普通ボクシングは両拳でのみ闘うもので、それに蹴りを足した

競技がムエタイと簡単に思われがちだが実際はそれだけではないのである。首相撲なるものを、存知だろうか。ボクシングとの決定的な違いはここにある。つまり首をつかみ合いその状態から体勢を崩したり、膝蹴り、肘打ちの攻撃が許されている。ムエタイに至っては首相撲で相手を崩し倒したのちに一度攻撃が認められている。昔テレビのゴールデンタイムのキックボクシング中継で沢村忠が真空飛び膝蹴りなる必殺技で、ロッキー藤丸などの強敵を倒してい

き、お茶の間をにぎわしていた。観客からするとあそこまで派手にKOできれば見ごたえもあるが、実際はなかなか難しい技術の攻防が繰り返されている。あの日観たテレビの中のヒーロー達の様に真っ向勝負していきたくいものである。ボクシングの技術は進化し続ける科学である。

佐伯先生ありがとうございます。次回佐伯先生のご紹介で岡本達也先生(摂津市)にバトンタッチされます。どうぞご期待ください。

大阪府歯科保険医協会 前事務局長・西端公敏氏が去る4月17日、帰らぬ人となった。1975年、歯科保険医協会の専任事務局長となり、設立間なしの海のものとも山のものともつかない協会の組織化に全力を尽くした。79年には、会員が1000人を超え、94年に3000人を達成した。歯科単独協会では全国一に成長し、医科・歯科協会のなかでも6番目の協会を築く原動力となった。

西端前事務局長を偲ぶ 協会の組織化に全力尽くす

玉川 和隆 協会名誉理事長

完成させた業績は、特に大阪の中小企業者の生活と営業を守る運動に飛び込んだ彼は、転じて歯科保険医協会と出会い、25年間の活動は、事務能力、政策的力量、組織能力等相まって、協会の心棒を担っていた。ところが60歳を前にして体調に異変をきたし、退職をせざるを得なかった。その後、療養をかねて沖繩に移り住み、自営業リスト教病院ホスピスにて今年3月末、淀川キ

を少し続けたが咽頭および食道の腫瘍の発生により、手術、一時小康を得、持ち前の馬力で業者運動や平和活動に参画するも、喉頭の腫瘍の再発に見舞われた。沖繩大病院での24時間にも及ぶ壮

入院。69歳の若さで生涯を終えることになった。大阪府歯科保険医協会は、この4月18日に40周年の記念日を迎えた。奇しくもその前日4月17日の死であった。2月に見舞いに行った

時には、元気で協会活動の思い出話をした。私の未完となった「自分史」的なものの表題を「牛のよだれのように生きて」としようかと相談するも、声を失ったもどかしさのなかで、手をたたくて賛意を表してくれた姿を忘れられない。

歴史の激動のなかにあって、お互いが身を寄せ合い組織を作り、生活と健康、医療を守る運動に立ち向かい、時に強靱に、時にはやかに闘い続け、肉体を痛みつける病魔ともたたかい通した悔いのない一生であったと祈るばかりである。



組合取引業者の親睦を図るため年2回開催している。戦略性の高いコースレアウトに悩まされながら、熱戦が繰り広げられ、松原市開業の藤井佐都樹氏(歯科・写真左)が優勝した。今回は参加費の一部を東日本大震災義援金として寄付した。次回開催は今年11月の休日に開催予定。

三団体親睦ゴルフ 歯科・藤井先生が優勝 組織部は三団体親睦ゴルフコンペを茨木国際ゴルフ倶楽部で4月29日に開いた。参加者は9組35人。このコンペは医科協会・歯科協会会員と協同

三団体親睦ゴルフ 歯科・藤井先生が優勝

組合取引業者の親睦を図るため年2回開催している。戦略性の高いコースレアウトに悩まされながら、熱戦が繰り広げられ、松原市開業の藤井佐都樹氏(歯科・写真左)が優勝した。今回は参加費の一部を東日本大震災義援金として寄付した。次回開催は今年11月の休日に開催予定。

はじめが肝心。医院を支えるスタッフ採用、良い関係を築く労働条件通知書

日時 5月22日(日) 午前10時〜午後1時
会場 保険医会館 定員 50人
講師 桂好志郎氏(協会顧問社労士)
会費 会員3千円、未入会者1万円

女性医師・歯科医師の会 大阪ウォッチング 緑あふれる「藤田邸公園」と船場の町並み「暮らしの今昔館」見学・大川左岸を歩く

日時 6月4日(土) 午後3時〜
費用 1100円(資料代500円)、「暮らしの今昔館」見学料600円
コース JR東西線「大阪城北詰」駅改札集合↓綱島↓「心中天網島」舞台の大長寺跡↓藤田邸公園↓明治18年大洪水堤防跡↓都島由来記↓桜宮橋↓対岸の造幣局↓大阪水道発祥地↓コレラチフス隔離施設跡↓「天6ガス爆発事故」慰霊碑↓「ゴーストシップ事件」現場↓暮らしの今昔館↓天神橋筋6丁目駅

お申し込みは 電話 06-6568-7731
ファクス 06-6568-0564

協会行事案内

大阪市西部・南部・東部地区
洗練された接遇・マナー基礎編
日時 6月5日(日) 午前10時〜午後1時
会場 保険医会館 定員 50人
講師 西出知子氏(接遇マナーインストラクター)
会費 会員院所スタッフ3千円

第5回日常診療経験交流会
防げる、治せる、認知症
日時 6月19日(日) 午前9時30分〜午後4時30分
午前 分科会・ポスターセッション
午後 基調講演・シンポジウム
基調講演講師 森啓氏(大阪市立大学大学院医学研究
シンポジウム 村内光一氏(尼崎市開業)ほか
会場 M&Dホール・保険医会館

7月度生涯研修
フルデンチャーの臨床と義歯の調整
日時 7月10日(日) 午前10時〜午後1時
会場 M&Dホール 定員 100人
講師 小野圭昭氏(大阪歯科大学高齢者歯科学講師)
会費 会員3千円、未入会者1万円

未入会者とは、会員院所に勤める勤務医未入会者です。協会行事などを本紙等で報道・紹介するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。

講習会へ参加ご希望の方は、必ず事前に協会までお申し込み下さい。